

裏山にいつの間にかできていた洞窟。。。
麓に住み、昔からよくこの裏山で遊んでいた2人は、
その洞窟の存在に気付いた。。。

こんな所に洞窟って・・・
前からあったっけ？

私も初めて見た・・・





探検だー！
いくぞー！

●●君・
暗いし危ないよお・・・

男の子にとっては好奇心旺盛な年頃
その洞窟を探検する事にした

我先へと進む男の子と
恐怖で身を縮こませ付いて行く女の子。◆◆




ねえ・・・
もう帰ろうよ・・・

まだ明るいから大丈夫だって！
もうちょっとだけ！



すると彼女の背後から何かが忍び寄る。◆◆



きやああああっ
!!!



現れた触手達。◆◆◆
そして彼女は足を絡め取られる。◆◆◆



助けて
●●君っ!!

う..うん..
今なんとかして...

グズグズ

グズグズ

グズグズ

グズグズ

グズグズ

グズグズ

グズグズ

グズグズ

グズグズ

グズグズ

グズグズ



早くっ！助けてっ！！

いやっ！！
離してっ！！

!?

すると彼女の周りに更に多くの触手が現れ、
彼女の手も拘束される。◆◆◆



?!?

やだあああ!!
置いてかないでえええ!!

うわあああああつ!!

すると彼は恐怖のあまり
洞窟の外へと走って逃げていった。◆◆◆



そして彼はあっという間に洞窟の外へと出ていった。◆◆◆

ううう...
ひびき...

プルプル

ニムニム...

ズニニ...

ニムニム...

ズズズ...

ズニニ...

ニムニム...

プルプル



すると彼女の股下から1匹の触手が近寄ってくる。◇◇◇

やっ...

？

ズズ...

ググ...

ズズ...

ズズ...

ググ...

ズズ...

ズズ...





服を捲るように上へと持ち上げた

!?!

いやっ!
やめてっ!

ズシッ

ズシッ...

ズシッ...

ズシッ...

ズシッ...

ズシッ...

更にもう1匹の触手が近づき...



もうやだあ...

ググ...

ググ...

ググ...

ズズ...

ズズ...

ズズ...

ズズ...



グサッ...

グサッ...

うろち...
うろち...
パンツ返して...

グサッ...

グサッ...

グサッ...

グサッ...

グサッ...

グサッ...

そして再び近づいてきた触手



彼女の秘部に先端を押し当てる。◆◆



何してるの...っ?!?

だ...だめっ!

ググ...

ズズ...

ヒュ...

ズズ...

ヒュ...



痛い痛い
痛い痛い
痛い痛い
痛い痛い!!

ズシッ...

グニッ...

ズシッ...

ズシッ...

グニッ...



触手は膣内へと侵入しようとしたが、
彼女の閉ざされた幼い秘部はそれを拒んだ。
そして触手は諦めたのか、一旦離れると。。。。







触手は先端を細かく複数に分かれた形状を変えた。◇◇◇



何...
もうやだ...

ズズ...

ズズ...

フル...

ニク...

ズズ...

ズズ...



再び触手が服を持ち上げると、形状を変えた触手は、秘部ではなく臍へ。





拵げたへそを触手が押し込み。◆◆◆

えっ...
何してるの...?

?

?

ズズ...

ズズ...

ズズ...

ズズ...

ズズ...

ズズ...



うそ...だめ...
そこ...おへそ...

クク

ニム...

ズズ...

ズズ...

ニム...

ズズ...

ニム...



あぁあーっ!!

触手は彼女の臍をこじ開け、中へと一気に流れ込む。◆◆◆

ズズ...

ズズ...

ズズ...

ズズ...

ズズ...

根本まで臍の中へとねじ込み、触手を送り込む。◆◆◆

ああーっ!!
ああーっ!!
ああーっ!!
!!!!





そして彼女は気絶してしまっただ。。。◇◇◇



意識を失い、抵抗しなくなった事を確認した触手は
彼女の腕の拘束を解く。。。。
そして触手達が次のフェーズへと動き始める。。。。



To Be Continued to Part 2

意識を失い、抵抗しなくなった事を確認した触手は
彼女の腕の拘束を解く。。。。
そして触手達が次のフェーズへと動き始める。。。。

























































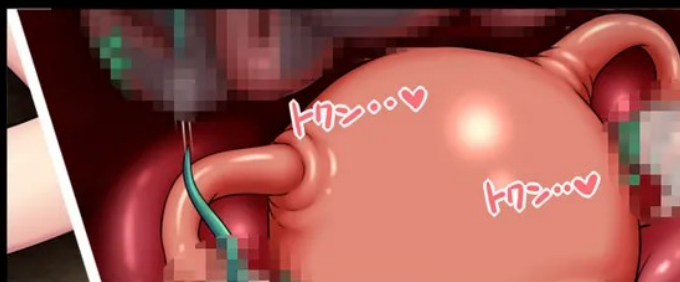












その触手は◆◆◆
 上は脳から下は子宮まであらゆる臓器を
 内側から侵食していく◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

